

【参考資料・リリース日本語訳】

2003年10月23日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

- ノバルティス2003年第1-3四半期 (1-9月期)業績発表 -
ノバルティスは市場の伸びを上回る2桁成長を達成し、
マーケットシェアをさらに拡大

- グループ全体の第1-3 四半期 (1-9月)の売り上げは18%増、医薬品部門は同18%増で引き続き市場の成長を上回り、サンド (ジェネリック)は同67%増の成長を記録し、業界全体をリード
- 主要製品が売り上げの好調に貢献。高血圧症治療薬「ディオバン」はこの領域でのグローバルのリーダーシップを確保。抗悪性腫瘍剤「グリベック」は慢性骨髄性白血病治療の第一選択薬としての適応が売り上げ増に寄与し、さらにダイナミックな成長を維持。
- 米国ではソレアとStalevo を上市。ヨーロッパではサーティカンとPrexige が初めて承認された。米国でトリレプタールが追加適応を取得し、ゼルノームの米国での処方がここ数週間で60%以上増加。
- 引き続き研究開発への高いレベルの投資があったにもかかわらず、グループ全体の第1-3 四半期 (1-9月)の営業利益は15%増。
- 第1-3 四半期 (1-9月)のフリーキャッシュフローは65%増で、純利益は3%増、1株当たりの利益は6%増。

2003年度第1-3四半期 (1-9月)

	2003年度第1-3四半期			2002年度第1-3四半期			前年比 (%)	
	百万ドル	億円	対売上%	百万ドル	億円	対売上%	ドルベース	現地通貨ベース
グループ全体の売上	18 134	21 398		15 308	18 063		18	11
医薬品	11 641	13 736		9 896	11 677		18	11
コンシューマーヘルス	6 493	7 662		5 245	6 189		24	16
営業利益	4 283	5 054	23.6	3 738	4 411	24.4	15	
純利益	3 656	4 314	20.2	3 538	4 175	23.1	3	
フリーキャッシュフロー	2 184	2 577		1 324	1 562		65	
1株当たり利益 /ADS (米ドル・円)	USD 1.48	174.6円		USD 1.40	165.2円		6	

1分離した事業を除く継続するビジネスの2002年の第1-3四半期の売り上げは1億6,700万ドル。

換算レート：2003年 1米ドル = 118円、2002年 1米ドル = 118円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に2003年、2002年ともに1ドル = 118円の為替レート（2003年1～9月の平均値）で米ドルを日本円に換算したものである。

2003年度第3四半期（7-9月）

	2003年度第3四半期			2002年度第3四半期			前年比(%)	
	百万 ドル	億円	対売上%	百万 ドル	億円	対売上%	ドルベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売上	6 210	7 328		5 373	6 340		16	11
医薬品	4 041	4 768		3 451	4 072		17	12
コンシューマーヘルス	2 169	2 559		1 866 ²	2 202		16	10
営業利益	1 469	1 733	23.7	1 320	1 558	24.6	11	
純利益	1 277	1 507	20.6	1 188	1 402	22.1	7	
フリーキャッシュフロー	1 527	1 802		1 066	1 258		43	

²分離した事業を除く継続するビジネスの2002年の第3四半期の売り上げは5,600万ドル。

パーゼル発、2003年10月20日：ノバルティスの会長兼CEOのダニエル・バセラは、2003年度の第1-3四半期（1-9月）の業績について、次のように述べています。「医薬品およびジェネリックの両部門において、引き続き2桁成長が成功裏に達成できたことを非常に嬉しく思います。医薬品部門はすべての主要市場において、引き続きシェアを拡大しました。循環器領域、特に「ディオバン」は、グローバルで急成長を続けているこのセグメントにおいてトップポジションを獲得しました。また、オンコロジー領域においても、上半期のダイナミックな成長の勢いを維持しました。ジェネリックビジネスは、大幅な成長を遂げグローバルのリーダーとなり、各国の医療費抑制に貢献すると同時に、患者ニーズを安価なコストで充足するという役割を果たしています。トップレベルの革新的ポジションを維持するために、研究開発に引き続き戦略的な投資を行いました。営業利益は15%増を達成し、ダイナミックな成長レベルを確保しました」

売り上げ

グループ全体の売り上げは18%増の181億ドルを達成

グループ全体の売り上げは米ドルベースで18%増、現地通貨ベースで11%増となり、昨年の第1-3四半期（1-9月）を上回りました。販売量の増加が売り上げの8%増に貢献し、一方、買収したビジネスが2%寄与しました。価格上昇の貢献は1%増で、現地通貨ベースから米ドルベースへのレート換算による影響は、売り上げの7%増に貢献しました。

医薬品部門の売り上げは18%増の116億ドルを達成

中核となる医薬品ビジネスの第1-3四半期（1-9月）の売り上げは18%増（現地通貨ベース：11%増）で、引き続き市場の伸びを上回りました。第3四半期の売り上げは、前年同期比17%増（現地通貨ベース：12%増）を記録しました。

医薬品部門は主要市場である米国でさらにシェアを獲得し、売り上げは15%増（現地通貨ベース：15%増）、世界第2位の市場である日本での売り上げは21%増（現地通貨ベース：14%増）、またヨーロッパでの売り上げは25%増（現地通貨ベース：6%増）となりました。最新のデータ（8月のIMSデータ）によると、グローバル・ヘルスケア市場でのノバルティスのシェアは4.35%に拡大しました。

循環器領域（38%増、現地通貨ベース：32%増）とオンコロジー領域（36%増、現地通貨ベース：27%増）は引き続き好業績を牽引し、第3四半期においても上半期の成長レベルを維持しました。特に、ディオバン、グリベック、ロトレル、ゾメタ、レスコールなどの

主要製品の貢献が顕著でした。

新たに上市された製品は、市場浸透をさらに確実なものとししました。ゼルマック/ゼルノームの売り上げは1億400万ドルを達成し、米国でのトータル処方数および新規処方数は、直近では60%以上の伸びを示しました。一方、エリデルの売り上げは1億6,500万ドルに達し、湿疹治療処方薬の世界No.1ブランドの地位を維持しました。

コンシューマーヘルス部門の売り上げは24%増の65億ドルを達成

コンシューマーヘルス部門の継続するビジネスの売り上げは、堅実な成長を達成し24%増（現地通貨ベース：16%増）となりました。主にサンド(ジェネリックビジネス)が牽引力となり、また、他のビジネス全体を通じての、市場の伸びを上回る売り上げ成長が促進力となりました。特に、OTC、医療用栄養食品、チバビジョンの売り上げは、米ドルベースで2桁の伸びとなりました。

サンドは、ジェネリックビジネスのリーディングカンパニーで、第3四半期の売り上げは好業績であった2002年同期をはるかに上回りました(36%増、現地通貨ベース：28%増)。特に、抗生物質AmoxC (Augmentin[®]のジェネリック)の米国での上市が貢献しました。サンドの第1-3四半期(1-9月)の売り上げ(67%増、現地通貨ベース：54%増)は、米国での小売りビジネスとレック社買収に牽引され、売り上げ増の39%を占めています。処方薬loratadine (アレルギー治療薬「Claritin[®]」)とCitalopram (抗うつ薬「Celexa[®]」)の英国での上市の成功が、売り上げ成長の勢いをさらに押し上げました。

OTC (一般薬)の売り上げは、15%増(現地通貨ベース：6%増)でした。禁煙補助薬「ニコチネル/ハビトロール」と局所性抗真菌剤「ラミシール」が牽引し、また米国でのloratadineの売り上げも、全体の売り上げ増に寄与しました。

医療用栄養食品(13%増、現地通貨ベース：1%増)の売り上げは、市場を上回る成長を達成し、特にホームケア・チャンネルでの施策が貢献しました。チバビジョン(13%増、現地通貨ベース：6%増)は、革新的な使い捨てレンズと連続装用レンズビジネスの堅調な業績によって、第3四半期も2桁成長を維持しました。

営業利益

2003年度第1-3四半期(1-9月)

	2003年度第1-3四半期			2002年度第1-3四半期			前年比 ドルベース
	百万 ドル	億円	対売上%	百万 ドル	億円	対売上%	
医薬品	3 249	3 834	27.9	2 850	3 363	28.8	14
コンシューマーヘルス(継続)	990	1 168	15.2	727	858	13.9	36
健康機能性食品(分離)				24	28		
コンシューマーヘルス	990	1 168	15.2	751	886	13.9	32
コーポレート収支	44	51		137	162		-68
合計	4 283	5 054	23.6	3 738	4 411	24.4	15

¹ Augmentin[®], Claritin[®] and Celexa[®] はそれぞれグラクソ・スミスクライン、シェリング・プラウ、バイエルの登録商標です。

2003年度第3四半期(7-9月)

	2003年度第3四半期			2002年度第3四半期			前年比
	百万 ドル	億円	対売上%	百万 ドル	億円	対売上%	ドルベース
医薬品	1 137	1 342	28.1	986	1 163	28.6	15
コンシューマーヘルス(継続)	326	385	15.0	285	336	15.3	14
健康機能性食品(分離)				8	*9		
コンシューマーヘルス	326	385	15.0	293	346	15.2	11
コーポレート収支	6	7		41	48		-85
合計	1 469	1 733	23.7	1 320	1 558	24.6	11

グループ全体の営業利益は15%増の43億ドル

計画どおり、研究開発への投資は31%と著明な増加となり、対売上比の15%となりました。継続的な生産性の向上と製品ミックスの改善により、売り上げ原価と販売費の増加は売り上げの伸びを下回り、バイオテクノロジー・ベンチャーへの投資に関する評価減や為替レートの変動、ロイヤリティ支払いなどによる一般管理費の増加を相殺しました。その結果、第1-3四半期(1-9月)の営業利益は15%増で、営業利益率は6ヵ月でのレベルを維持し23.6%でした。

医薬品部門の営業利益は14%増の32億ドル

第3四半期において、売り上げが引き続き堅調に増加したため、利益の伸びは加速されました。売り上げ原価ならびに、販売および研究開発への投資は、開発のマイルストーンと魅力的なライセンス・インの機会に関わる多額の支払いが発生した、上半期の伸びを下回りました。9ヵ月を通じて、売り上げ原価における製品ミックスの変更と生産性の向上が、引き続き粗利益率の改善を促進しました。研究開発費は、米国ケンブリッジの新しい研究所への巨大な投資を反映して対売上比は19%に達し、一方、販売費の対売上比はわずかに減少しました。

コンシューマーヘルス部門の営業利益は36%増の10億ドル

コンシューマーヘルス部門の継続するビジネスでの第1-3四半期(1-9月)の営業利益は36%増で、売り上げの伸びを上回りました。特に、サンドによる貢献が顕著で(87%増)、販売量の拡大と生産性の向上により、販売費および研究開発における投資増が相殺され、さらに営業利益の伸びに貢献しました。サンドに加えて、チバビジョン(38%増)、医療用栄養食品(184%増)、OTC(34%増)とすべて営業利益が大幅な伸びを達成し、特にOTCではloratadineの予想を上回る好調が貢献しています。

グループ全体の純利益

グループ全体の純利益は、第1-3四半期(1-9月)で37億ドルに達しました。増加率は3%と、営業利益レベルと比較すると顕著ではありませんが、これは関連会社および金融投資から得られる営業外利益が大幅に減少したためです。第1-3四半期(1-9月)での1株当たりの利益(EPS)は、6%増の1.48ドルとなりました。

グループ全体の見通し (予測困難な要因を除く)

専門領域とプライマリーケア領域の両方をカバーする医薬品の製品ポートフォリオと、特許期間終了による影響が比較的低いことは、引き続きノバルティスの優位性であり続けると見込んでいます。その結果、短期的および中期的には、現地通貨ベースで1桁後半から2桁前半の売り上げの伸びを達成できると期待しています。

営業利益においては、持続可能な増加が見込まれていますが、引き続き医薬品部門において、マーケットシェアの増大と革新的な研究開発を維持するための、非常に活発な成長戦略を追求するために、営業利益率については2003年および2004年でわずかに減少すると見込んでいます。その結果、2003年および2004年において、研究開発には売り上げの伸びを上回るペースでの投資が計画されています。これを支えているのは、患者さんに新たな治療法を提供するというノバルティスの強いコミットメントです。

すでに予測したとおり、減少した運用資金と困難な経済情勢を反映して、2003年の金融収支は前年レベルを下回ることが見込まれています。しかし、堅調な業務パフォーマンスの持続により、予測困難な要因を除けば、通年の営業利益および純利益はともに前年レベルを上回ると見込まれています。

医薬品部門および製品別のハイライト

プライマリーケア

高血圧症治療薬 **ディオバン** (49%増、現地通貨ベース：41%増、米国：45%増)は、アンジオテンシン 受容体ブロッカー (ARB) の世界的リーダーで、その競合からシェアを獲得し、第3四半期では、引き続きARBセグメントの急速な拡大を上回る勢いで成長を達成しました。

製品の卓越した効果、心保護作用および競合力のある臨床試験プログラムによって、ディオバンのさらに堅調な成長が促進されます。心筋梗塞後の患者を対象としたディオバンの試験「VALIANT」の結果は、11月に開催される米国心臓学会で発表される予定です。

高血圧症治療薬 **コディオバン**は、米国のARBとの合剤のセグメント (単独および併用療法) において、2番目に多く処方される製品となりました。この急速な成長は、新用量の上市の成功と心不全の適応追加、ならびに新たな治療ガイドラインに牽引されました。

高コレステロール血症 **レスコール/ローコール** (28%増、現地通貨ベース：19%増、米国：14%増)は、ハイリスク患者における有用性が証明され、また5月に米国で冠動脈イベントの二次予防に対する追加適応が承認されたことによって、売り上げ成長が加速されました。

抗真菌剤 **ラミシール** (13%増、現地通貨ベース：7%増、米国：5%増) の売り上げは、特に米国と日本における疾患の認知度向上による堅調な需要によって拡大されました。第3四半期におけるトータル処方傾向は、製品への大きな潜在需要を反映して、米国で2桁成長を示しました。

湿疹治療薬 **エリデル**は上市後2年目を迎え、第1-3四半期 (1-9月) の売り上げは1億6,500万ドルを達成しました。非ステロイド性薬剤であるエリデルは、ステロイドに見られる副作用がないため、米国の湿疹治療の処方薬としてNo.1ブランドとしてリーディングポジ

ションを維持しています。すでに世界30カ国以上で販売されています。

便秘型の過敏性腸症候群治療薬 **ゼルノーム / ゼルマック**の売り上げは、製品の治療における有用性と疾患に対する認知度の向上を反映して、1億400万ドル（米国：8,100万ドル）を超えました。米国でのトータル処方は新規処方同様、最近で60%以上増加しました。ゼルノーム / ゼルマックはすでに世界34カ国で販売されています。

オンコロジー

慢性骨髄性白血病（CML）と消化管間質腫瘍（GIST）の治療薬 **グリベック**（91%増、現地通貨ベース：75%増、米国：42%増）は、CMLの初発患者に対する第一選択薬として用いられ、また米国、ヨーロッパ、日本におけるGISTの追加適応も取得したことによって、引き続きダイナミックな成長を達成しました。7月には米国で新たに錠剤が発売され、多量の購入を促進した結果、第3四半期の卸在庫は低下しました。新たな100mgと400mgの錠剤によって、患者さんはより服用しやすくなります。経済的な理由によって治療を受けられない患者さんにグリベックを提供する、患者支援プログラムが適用されている患者さんの数は、全世界で5,000人以上にまで増えました。

悪性腫瘍骨転移に伴う骨合併症の治療薬 **ゾメタ**（104%増、現地通貨ベース：95%、米国：75%増）は、悪性腫瘍の骨転移治療のために最も多く処方されるビスフォスフォネート注射剤で、引き続きダイナミックな成長を達成し、売り上げは6億5,200万ドルとなりました。ヨーロッパ数カ国での上市が成長をさらに加速させ、また、肺がん、前立腺がん、多発性骨髄腫、乳がんなどを含むより多くの腫瘍への適応が拡大されました。「ゾメタ」の優れた治療の有用性により、「アレディア」からの切り換えが成功裏に進み、「ゾメタ」と「アレディア」を合わせた売り上げは、7億5,500万ドルに達しました

先端巨大症およびカルチノイド症候群の治療薬 **サンドスタチン**の売り上げは米国での好調が牽引し、引き続き堅調な伸びを示しました（13%増、現地通貨ベース：5%増、米国：9%増）。新たな競合の市場参入で伸びは緩やかでしたが、徐放性製剤LARが引き続き好調です（18%増、現地通貨ベース：9%増、米国：14%増）。

ホルモン過敏性の閉経後乳がん治療の第一選択薬「**フェマール**」の売り上げは、進行再発乳がんに対する第一次内分泌治療でのタモキシフェンに対する優位性を示す、唯一のアロマトラーゼ阻害剤としての優れたプロフィールに支えられ、30%増（現地通貨ベース：19%増、米国：27%増）を達成しました

眼科

加齢黄斑変性の治療薬 **ピスタイン**（24%増、現地通貨ベース：16%増、米国：6%増）は、市場へ順調に浸透し、ヨーロッパ、ラテンアメリカおよびアジア太平洋地域での好調な売り上げが寄与し、引き続き堅調な成長を達成しました。

移植 免疫

免疫抑制剤 **ネオール / サンディミュン**の売り上げは、米国での低用量設定による使用に加え、ドイツとイタリアでのジェネリックの参入と強制的な価格引下げがありましたが、若干の減少に留まりました（5%減）。日本では行政当局による保険払い戻しが減少した

にも関わらず、成長の勢いは維持されました。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2002年度の売り上げは209億ドル(約2兆4,871億円)で、純利益は47億ドル(約5,593億円)、研究開発への投資は約28億ドル(約3,332億円)でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約78,500人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください <http://www.novartis.com>

今後の業績および事業発表予定

2003年11月19日

2004年1月22日

2004年2月24日

R&Dデー

2003年度業績発表

年次株主総会

部門のおよびビジネスユニット別売り上げ

2003年度第1-3四半期 (1-9月)

	2003年度第1-3四半期		2002年度第1-3四半期		増減	
	百万 ドル	億円	百万 ドル	億円	ドルベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	11 641	13 736	9 896	11 677	18	11
コンシューマーヘルス	6 493	7 662	5 412	6 386	20	12
サンド(ジェネリック)	2 138	2 523	1 280	1 510	67	54
OTC	1 273	1 502	1 108	1 307	15	6
アニマルヘルス	502	592	470	555	7	1
医療用栄養食品	607	716	537	633	13	1
乳幼児用栄養食品	1 013	1 195	1 003	1 184	1	3
チバビジョン	960	1 133	847	999	13	6
コンシューマーヘルス(継続)	6 493	7 662	5 245	6 189	24	16
健康機能性食品(分離)			167	197		
合計	18 134	21 398	15 308	1 8063	18	11

2003年度第3四半期 (7-9月)

	2003年度第3四半期		2002年度第3四半期		増減	
	百万 ドル	億円	百万 ドル	億円	ドルベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	4 041	4 768	3 451	4 072	17	12
コンシューマーヘルス	2 169	2 559	1 922	2 268	13	7
サンド(ジェネリック)	675	797	496	585	36	28
OTC	443	523	396	467	12	5
アニマルヘルス	163	192	157	185	4	-1
医療用栄養食品	206	243	185	218	11	2
乳幼児用栄養食品	349	412	335	395	4	5
チバビジョン	333	393	297	350	12	6
コンシューマーヘルス(継続)	2 169	2 559	1 866	2 202	16	10
健康機能性食品(分離)			56	66		
合計	6 210	7 328	5 373	6 340	16	11

部門およびビジネスユニット別営業利益

2003年度第1-3四半期 (1-9月)

	2003年度第1-3四半期			2002年度第1-3四半期			増減
	百万 ドル	億円	対売 上%	百万 ドル	億円	対売 上%	現地通貨 へース (%)
医薬品	3 249	3 834	27.9	2 850	3 363	28.8	14
コンシューマーヘルス	990	1 168	15.2	751	886	13.9	32
サンド(ジェネリック)	351	414	16.4	188	222	14.7	87
OTC	216	255	17.0	161	190	14.5	34
アニマルヘルス	61	72	12.2	77	91	16.4	-21
医療用栄養食品	54	64	8.9	19	22	3.5	184
乳幼児用栄養食品	188	222	18.6	183	216	18.2	3
チバビジョン	137	162	14.3	99	117	11.7	38
部門別管理費	-17	-20					
コンシューマーヘルス(継続)	990	1 168	15.2	727	858	13.9	36
健康機能性食品(分離)				24	28		
コーポレート	44	52		137	162		-68
合計	4 283	5 054	23.6	3 738	4 411	24.4	15

2003年度第3四半期 (7-9月)

	2003年度第3四半期			2002年度第3四半期			増減
	百万 ドル	億円	対売 上%	百万 ドル	億円	対売 上%	現地通貨 へース (%)
医薬品	1 137	1 342	28.1	986	1 163	28.6	15
コンシューマーヘルス	326	385	15.0	293	346	15.2	11
サンド(ジェネリック)	94	111	13.9	75	89	15.1	25
OTC	82	97	18.5	84	99	21.2	-2
アニマルヘルス	21	25	12.9	23	27	14.6	-9
医療用栄養食品	18	21	8.7	3	4	1.6	500
乳幼児用栄養食品	70	83	20.1	63	74	18.8	11
チバビジョン	48	57	14.4	37	44	12.5	30
部門別管理費	-7	-8					
コンシューマーヘルス(継続)	326	385	15.0	285	336	15.3	14
健康機能性食品(分離)				8	9		
コーポレート	6	7		41	48		-85
合計	1 469	1 733	23.7	1 320	1 558	24.6	11

2003年度第1-3四半期(1-9月)売上げトップ20製品

製品名	適応	百万		前年比%	
		ドル	億円	ドルベース	現地通貨ベース
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1 757	2 073	49	41
グリベック	慢性骨髄性白血病	795	938	91	75
ネオラル/サンディミュン	移植	744	878	-5	-13
ラミシール(グループ)	真菌症	709	837	13	7
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	652	769	104	95
ロトレル	高血圧症	593	700	24	24
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	522	616	28	19
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	511	603	13	5
ボルトレン(グループ)	炎症/疼痛	436	514	-1	-5
チバセン/ロテンシン	高血圧症	328	387	-5	-8
トップ 10 製品トータル		7 047	8 315	29	22
ミアカルシック	骨粗しょう症	295	348	-5	-9
トリレプタール	てんかん	284	335	51	48
エクセロン	アルツハイマー病	271	320	23	16
テグレートール	てんかん	271	320	0	-4
ビスダイン	加齢黄斑変性	261	308	24	16
レボネックス /クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	226	267	-3	-10
フォラジール	ぜん息	210	248	9	-5
ホルモン置換療法シリーズ	ホルモン置換	175	207	-15	-20
ファンビル	抗ウイルス剤	173	204	5	1
フェマーラ	乳がん	164	194	30	19
トップ 20 製品トータル		9 377	11 065	24	17
その他の製品		2 264	2 672	-2	-9
全製品トータル		11 641	13 736	18	11

2002年度の業績は、一部製品の他セクターへの移管の売上げに基づいて集計し直した。
本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1ドル=118円の為替レートで米ドルを日本円に換算したものである。